

令和6年 普通救命講習 (AED)

日 時:11 月 10 日(日曜日) 時間 9:00~12:00

場 所;大岡地区センター2階大会議室

主 催:消防防災部・女性部 参加人数:25名

講 師:駿東伊豆消防本部救急ワークステーション 鈴木基由氏・岡本宏美氏・渡辺信康氏



駿東伊豆消防本部救急ワークステーションの講師の皆さん

日本では **AED** が急速に普及しており、さまざまな場所に設置されています。事故や急病は突然おこるため、いつ、どこで救命処置を必要とする場面に遭遇するかわかりません。**2021年の119番通報**してから救急車が現場に到着するまでの時間は全国平均で、**約9.4分**かかっており、この数分の間に救命処置を行うかどうかで傷病者の救命率を大きく左右することがうかがわれます。救急車が到着するまでに一般市民によって適切に救命処置されると、より高い救命効果が期待できることが報告されています。救急車が到着するまでに救命処置を実施できるかが、いかに重要であるかがわかります。いざという時に救命処置が行われるよう、**AEDの使用法を知っておく**ことも大切です。

AED を使用して**救命処置**を行うためには、**周囲の安全確認**や**一次救命処置(BLS)**等の一連の流れを把握し、その上で **AED** の電源の入れ方や電極パットの貼り付け位置、必要に応じて電気ショックを実施するといった正しい使用方法や知識を身につけておくことが大切です。**AED** の講習は、トレーニング用の人形を用いて反応の確認や呼びかけ、心肺蘇生等を含んだ内容の講習を受けます。そのため、人が倒れていて意識がないという緊急を要する場面に遭遇した時にどのような行動をとるべきか、一連の流れを学ぶことができました。

【一次救命措置(BLS)の手順】

一次救命措置(BLS)は**心臓蘇生**や **AED** を用いた**除細動**等、**心臓や呼吸が停止した**傷病者に対してその場にいる人が救急隊や医師に引き継ぐ間に行う応急手当のことをいいます。一次救命措置の手順は、心肺停止または呼吸停止の傷病者に対して、耳元で声をかけて**反応の確認**や**呼吸確認**、**119番通報**を行うとともに、傷病者の**気道確保**、**人口呼吸**および**胸骨圧迫**を行うことで、傷病者の救命率が大きく変わります。専門的な器具や薬品等を使わない処置のため、正しい知識と適切な処置の方法を知っていれば、誰でも行うことができます。**一次救命処置は傷病者の社会復帰に大きな役割を果たす**ため、手順や実施方法を身につけておきましょう。

【心肺蘇生の実施方法】

突然ひとが倒れ、呼びかけにも反応がない場合は「**心肺停止**」を疑います。心肺停止は、**全身の血液を循環**させる**胸骨圧迫を30回**、酸素を含んだ空気を体内に送り込む人工呼吸を2回絶え間なく続けることで心臓の動きや呼吸を助けます。心臓の動きや呼吸を助けます。**心肺蘇生は時間との勝負**になるため、適切に行動できるように正しい実施方法等を習得します。



～講習風景～



～呼吸及び胸骨圧迫・AED パット装着・電気ショック～